

ドイツの薬局

目次

- ▶ 薬局被雇用者の給与
- ▶ 医薬品の価格
- ▶ 減少する薬局数

薬局被雇用者の給与

I. Gehälter ab 01.01.2023

	Spalte 1	Spalte 2a	Spalte 2b	Spalte 3
	Brutto-Monats-gehalt	Notdienst 18:30-22:00 Uhr ¹	Notdienst 22:00-8:00 Uhr ¹	Notdienst 8:00-18:30 Uhr (Sonn- und Feiertags) ²
1. Apotheker:innen				
1. Berufsjahr	3.895 €	79 €	124 €	236 €
2.-5. Berufsjahr	4.013 €	81 €	128 €	244 €
6.-10. Berufsjahr	4.296 €	87 €	137 €	261 €
ab 11. Berufsjahr	4.679 €	95 €	149 €	284 €
2. Apothekerassistent:innen				
1.-14. Berufsjahr	3.226 €	65 €	103 €	196 €
ab 15. Berufsjahr	3.401 €	69 €	108 €	206 €
3. Pharmazie-Ingenieur:innen und Dipl. Pharmazie-Ingenieur:innen				
1.-8. Berufsjahr	3.068 €	62 €	98 €	186 €
9.-14. Berufsjahr	3.226 €	65 €	103 €	196 €
ab 15. Berufsjahr	3.401 €	69 €	108 €	206 €
4. Pharmazeutisch-technische Assistent:innen				
1.-2. Berufsjahr	2.419 €			
3.-5. Berufsjahr	2.538 €			
6.-8. Berufsjahr	2.737 €			
9.-14. Berufsjahr	2.954 €			
ab 15. Berufsjahr	3.072 €			
5. Apothekenassistent:innen				
	2.993 €			
6. Pharmazeutisch-kaufmännische Angestellte, Apothekenhelfer:innen, Apothekenfacharbeiter:innen und Pharmazeutische Assistent:innen				
1.-2. Berufsjahr	2.156 €			
3.-6. Berufsjahr	2.235 €			
7.-9. Berufsjahr	2.302 €			
10.-13. Berufsjahr	2.423 €			
ab 14. Berufsjahr	2.587 €			

Tarifgehälter in Vollzeit mit 40 Wochenstunden
Teilzeitrechner auf www.adexa-online.de im Login-Bereich

薬局被雇用者の給与

1. 給与 2023年1月1日より有効

1. 薬剤師
2. 薬剤師アシスタント (旧資格)
3. 薬学エンジニア、ディプロム・薬学エンジニア
4. PTA (薬学技術アシスタント [テクニシャン])
5. 薬局アシスタント (旧資格)
6. PKA (薬学商業従業者、ヘルパーなど [在庫管理担当者])

Berufsjahr : 就業年次

Spalte1 : 天引き前給与

Spalte2a : 時間外勤務手当 18:00-22:00

Spalte2b : 時間外勤務手当 22:00-8:00

Spalte3 : 時間外勤務手当 8:00-18:00 (日曜・祝祭日)

https://www.adexa-online.de/fileadmin/media/pdf/Tarifvertraege/ADEXA_BRTV_ab_01.01.2020_Web.pdf

ADEXA

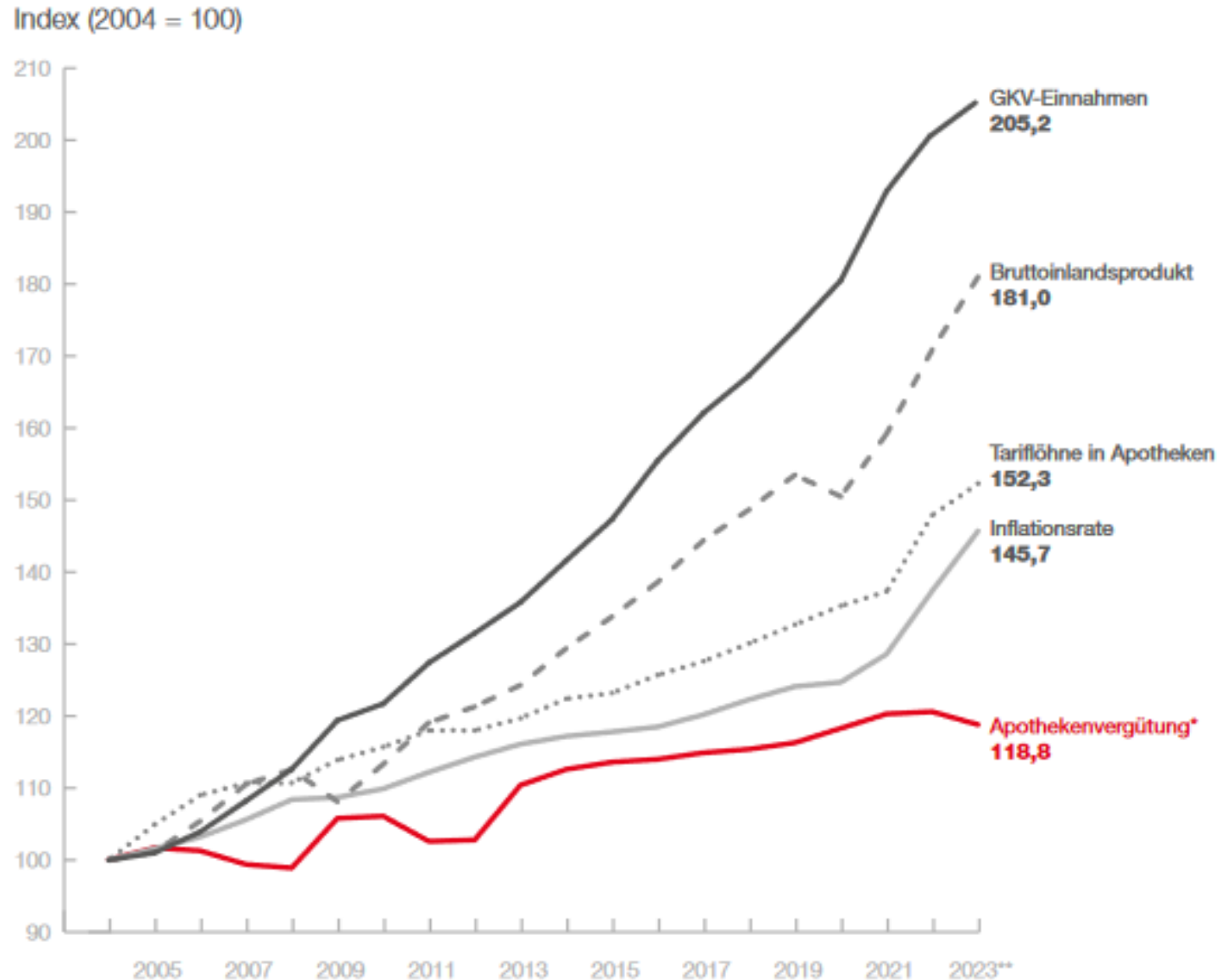
- ▶ 薬局被雇用者の労働組合
- ▶ 賃金・雇用・職能に関する薬局被雇用者の相談機関
- ▶ 本部はハンブルク
- ▶ 薬局被雇用者の標準給与を薬局経営者組合（Arbeitgeberverband Deutscher Apotheken〔ADA〕）と取り決める
- ▶ 2024年は、10.5%の賃上げを要求中
- ▶ 2~3年ごとに改定があり、雇用者は標準給与を支払う義務はないが、求人に影響する
- ▶ 西にくらべ、経済状況の悪い旧東ドイツでは、標準給与よりも低い給与を与える薬局がある
- ▶ 薬剤師が標準給与+20%をもらえれば、時間外勤務手当も含まれていることになる

薬局報酬の変化 2004年を100とする

上から

- 公的医療保険の歳入
- GDP
- 薬局被雇用者の給与
- 物価上昇
- **薬局報酬***

*要処方箋薬の報酬：
薬局入荷価格に
• 3%のマージン
• €8.35のFixマージン
• 夜勤手当報酬€0.21
を加え、保険者の手数料
• €2.00（年によって違う）
を引いたもの



ドイツ薬剤師連盟（ABDA）薬局統計：Die Apotheke Zahlen・Daten・Fakten 2023より

https://www.abda.de/fileadmin/user_upload/assets/ZDF/ZDF-2023/ABDA_ZDF_2023_Broschuere.pdf

ドイツの薬局統計

- ・ドイツ薬剤師連盟（ABDA）が毎年発表
- ・重要項目を同じ手法で統計値化
- ・ドイツの薬局動向を見るのに良い統計
- ・2008年よりデジタル化、ダウンロードが可能
- ・英語版もあり

Die Apotheke Zahlen Daten Fakten 2023

ドイツ語版

https://www.abda.de/fileadmin/user_upload/assets/ZDF/ZDF-2023/ABDA_ZDF_2023_Broschuere.pdf

英語版

https://www.abda.de/fileadmin/user_upload/assets/ZDF/ZDF-2023/ABDA_ZDF_2023_Brosch_english.pdf

医薬品の価格

価格の違い

- ▶ 要処方箋医薬品：公定の算定方式あり
- ▶ OTC医薬品：参考として算定方式がある

要処方箋薬の価格

- ▶ メーカーが出荷価格を決めることができる
 - ▶ その出荷価格により薬局販売価格（保険請求価格）が決まる
 - ▶ 要処方箋医薬品の
 - メーカー出荷価格（卸購入価格）
 - 薬局入荷価格（卸出荷価格）
 - 薬局販売価格（償還限度価格などの縛りがない限り、保険請求価格）
- は、リスト価格

要処方箋医薬品の薬価（薬局販売価格） メーカー出荷価格を€50.-としたときの例

Abgabepreis des pharmazeutischen Unternehmers (ApU)	50,00 EUR
+ Großhandelshöchstzuschlag (3,15 % auf ApU + 0,70 EUR)	2,28 EUR
= Apothekeneinkaufspreis (AEP)	52,28 EUR
+ Apothekenzuschlag (3 % auf AEP + 8,35 EUR)	9,92 EUR
+ Notdienstzuschlag (0,21 EUR)	0,21 EUR
+ Förderzuschlag für pharmazeutische Dienstleistungen (0,20 EUR)	0,20 EUR
= Netto-Apothekenverkaufspreis (Netto-AVP)	62,61 EUR
+ Mehrwertsteuer (19 % auf Netto-AVP)	11,90 EUR
= Apothekenverkaufspreis (AVP)	74,51 EUR

上から

メーカー出荷価格

卸マージン（入荷価格の3.15% + €0.70）

薬局入荷価格

薬局マージン（入荷価格の3% + €8.35）

夜勤手当（€0.21）

加算報酬手当（€0.21）

薬局販売価格（付加価値税なし）

付加価値税（19%）

薬局販売価格（付加価値税込み）

薬局販売価格はメーカー出荷価格をもとに算定

医薬品の分類

ドイツでは次の3分類

▶ Verschreibungspflichtig

直訳は処方義務

処方箋がないと薬局で入手できない医薬品

▶ Apothekenpflichtig

直訳は薬局義務

薬局でしか入手できない医薬品

いわゆるOTC医薬品

▶ Freiverkäuflich

直訳は自由販売可（用）

販売責任者（薬剤師でなくてよい）がいれば、量販店、スーパーなど

でも販売できる

Verschreibungspflichtig

- ▶ 薬局は、医師の処方箋がないと販売できない
- ▶ 薬局でしか患者に販売できない
- ▶ 来局者の見えるところに配置してはいけない
- ▶ 一般向けに製品宣伝をしてはならない

Apothekenpflichtig

- ▶ 医師の処方箋がなくとも薬局で入手できる
- ▶ 薬局でしか販売できない
- ▶ メーカーは一般向けの宣伝が可能
- ▶ 2004年までは、公定価格
 - メーカー出荷価格が決まると末端価格（保険請求価格）が決まる算定方式
- ▶ 2004年より自由価格
 - （メーカー希望小売価格を薬局で自由に変更することができる）
 - メーカーが出荷価格と希望小売価格を決定できる

OTC医薬品の償還

- ▶ 2004年より18歳以上の成人へのOTC医薬品は償還外し
- ▶ 但し、成人への処方・償還が可能なOTC医薬品の例外リストがある
例：抗アレルギー剤、血栓予防用低用量のアスピリン剤、
高鬱剤としてのイチョウエキス含有錠
- ▶ 12歳未満患者への処方OTC医薬品は公的医療保険が償還
- ▶ 12歳以上18歳未満では、心身の成長障害者に対する処方OTC医薬品は償還可能、但し、薬局で患者が同障害を持つか確認する必要なし
⇒ 医師が処方すればペナルティの心配なく患者に渡せる

OTC医薬品になるには

- ▶ ドイツ薬事法48条により要処方箋薬となっている製品は、メーカーが希望し、当局の審査に通れば、最短5年後にOTC医薬品となることができる
スイッチOTC医薬品
- ▶ 適応症や成分により、OTC医薬品には、なり得ない医薬品もある
適応症例：ガン
成分：抗生物質、降圧剤、糖尿病薬
- ▶ 成分の有効性・安全性・品質が既に確立されており、OTC医薬品として問題ないものは5年間の要処方箋義務なしにOTC医薬品認可になる製品もある
ハーブ製剤、ミネラル製剤など

スイッチOTC医薬品

- ▶ 通常処方用とOTC用に包装を変えている

例：イブプロフェン製剤 フィルム錠

処方用：白が基調

OTC用：目を引くデザイン・色調

- ▶ 処方用とOTC用で製品名を変えているものがある

例：セントジョーンズワート製剤 フィルム錠

処方用：Laif 900

OTC用：Laif 900 Balance

例：アセチルシステイン製剤 発泡錠

処方用：ACC Akut

OTC用：ACC Long



処方用



OTC用

スイッチOTC医薬品

- ▶ OTC用では、処方用より1包装あたりの容量が小さく（少なく）限られているものがある

例：アセトアミノフェン製剤 錠剤

処方用：30錠、50錠

OTC用：10錠、20錠

- ▶ OTC用では、処方用より含有量が少ないものがある

例：ジクロフェナック

処方用：50mg錠、75mg徐放剤、100mg徐放剤

OTC用：25mg錠

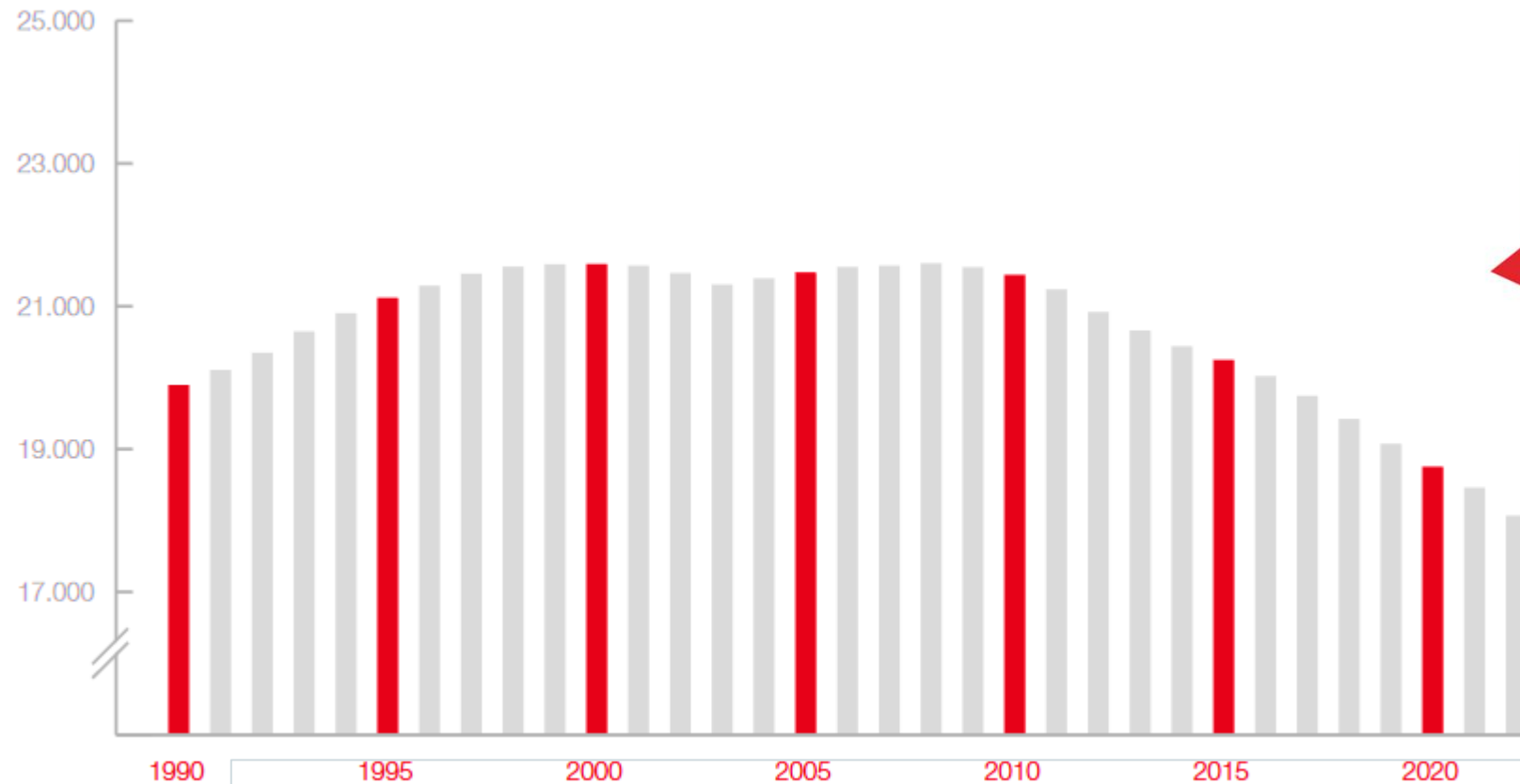
減少する薬局数

2004年

ドイツ薬局の分岐点

- ▶ 2004年、SPD（ドイツ社会民主党）の政権下、これまでにない厳しい医療費抑制政策
（Gesetz zur Sicherung und Strukturverbesserung der gesetzlichen Krankenversicherung〔Gesundheitsstrukturgesetz : GSG〕）が採られ、薬局を含む医療機関の報酬が減少
- ▶ 薬局経営変化
 - ・ OTC医薬品の自由販売価格化（以前は公定価格）
 - ・ 新薬価算定による医薬品利幅の減少
 - ・ ネット薬局解禁
 - ・ 本店1店に対し支店3店舗までの経営の許可

減少し続けるドイツの薬局数 17830店舗（2023年6月末現在）



ABDA薬局統計：Die Apotheke Zahlen Daten Fakten 2023

https://www.abda.de/fileadmin/user_upload/assets/ZDF/ZDF-2023/ABDA_ZDF_2023_Broschuere.pdf

薬局数の減少

- ▶ 2000年から減少に転じていた（薬局数の飽和）
- ▶ 2004年の薬価算定改定により、高額医薬品で利益が出にくくなった
- ▶ 公的医療保険へ支払う手数料の増加により、要処方箋医薬品での利益が減少
- ▶ 2004年から2008年間に薬局数は増加
理由
2004年に支店解禁となり経営効率を図るため支店を出す薬局が出て来た
- ▶ 2008年をピークに毎年減少中
- ▶ 平均規模以上の売上げがないと生き残りは難しい
- ▶ 厳しい医療費抑制政策が続き、将来に明るい展望の持ちにくいドイツ薬局
- ▶ 中小規模の薬局では、特に地方の薬局は後継者が見つからず薬局を閉店せざるをえないところがある

薬局数 支店数、開設・閉店数

	1990	1995	2000	2005	2010	2015		2020	2021	2022
Apothekenzahl (inkl. Filialapotheken)	19.898	21.119	21.592	21.476	21.441	20.249		18.753	18.461	18.068
davon										
Haupt-/Einzel- apotheken*	19.898	21.119	21.592	20.248	17.963	15.968		14.110	13.718	13.355
Filialapotheken	—	—	—	1.228	3.478	4.281		4.643	4.743	4.713
Neueröffnungen	—	372	187	326	263	154		85	77	68
Schließungen	—	156	185	242	370	346		407	369	461
Apothekenentwicklung	—	+216	+2	+84	-107	-192		-322	-292	-393

上から
年次

支店を含む薬局数

本店・支店のない薬局数
支店数

新規開設
閉店
増減

薬局経営傾向

- ▶ 全体数の減少に歯止めがかかっていない
- ▶ 2020年代は新規開設数にも鈍り
- ▶ 支店数は増加している一方で、経営の安定した薬局を支店として取り込みさらなる経営の効率化を図っているものと思われる
- ▶ 閉店数は年々増加中

薬局売り上げ分布 (%) 2009年 / 2014年

縦軸：% 横軸：売り上げ単位100万ユーロ

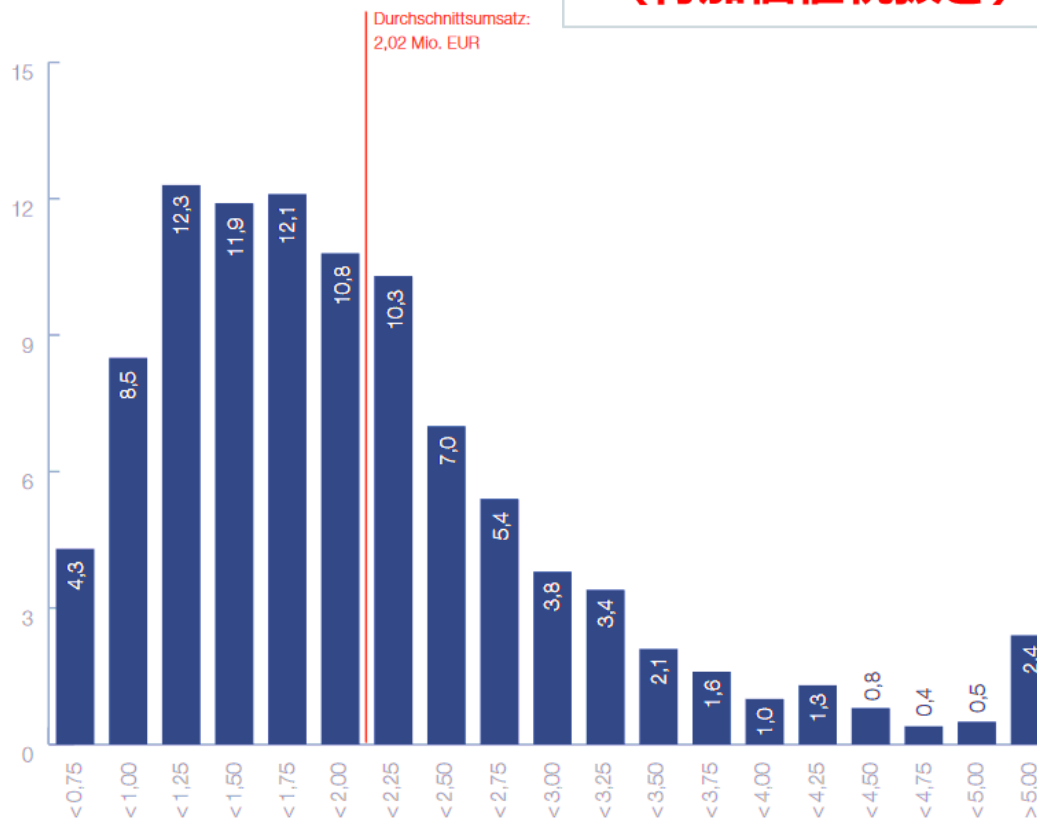
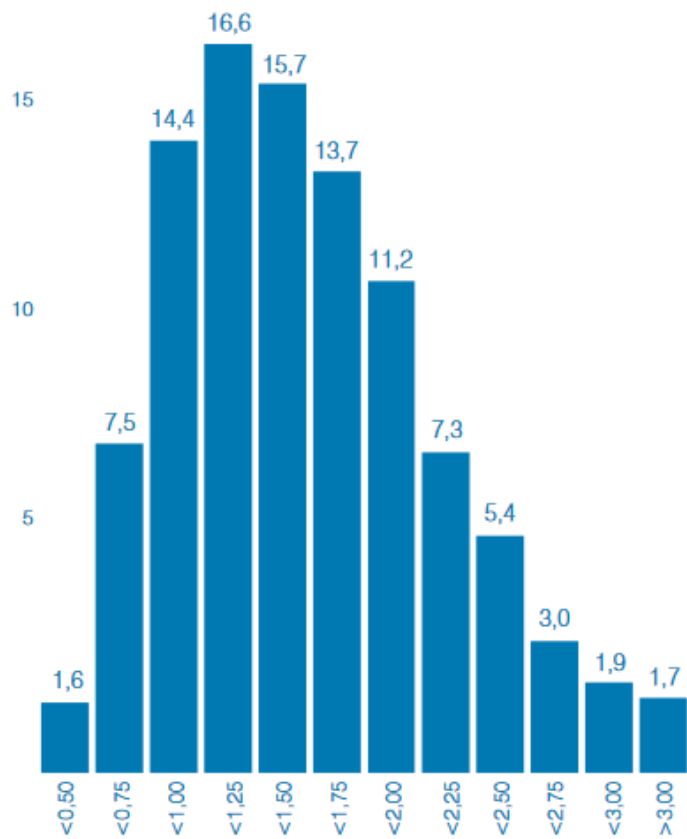


2009年

2014年

平均売上202万ユーロ
(付加価値税抜き)

(%)



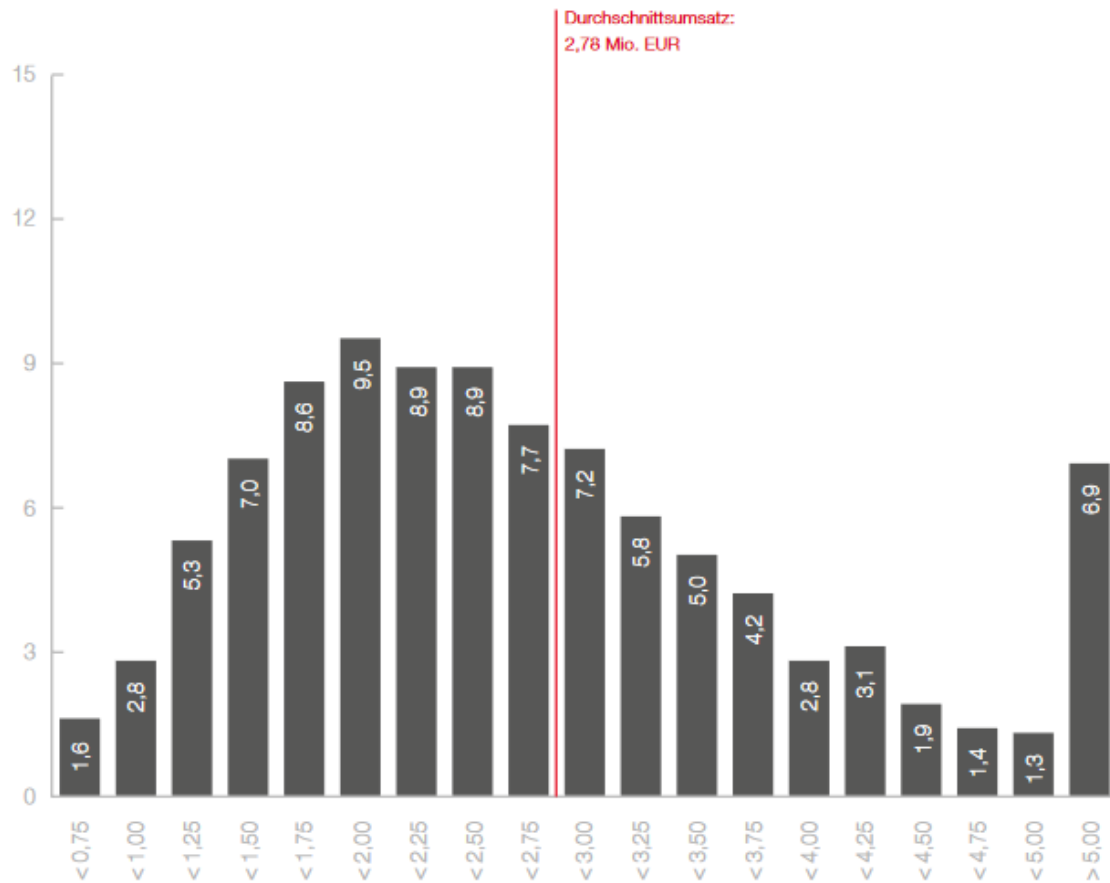
薬局売り上げ分布 (%) 2020年/2022年

縦軸：% 横軸：売り上げ単位100万ユーロ



2020年

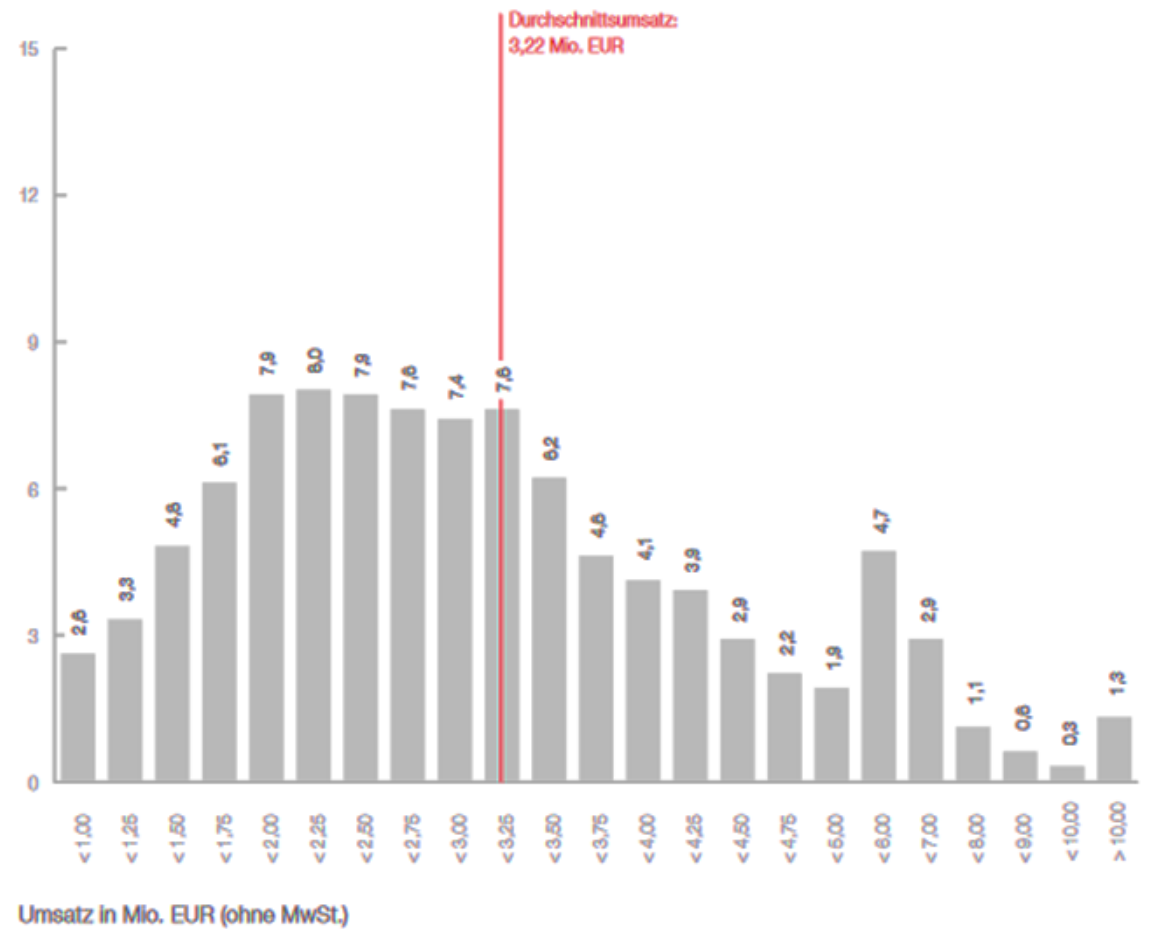
平均売上228万ユーロ
(付加価値税抜き)



2022年

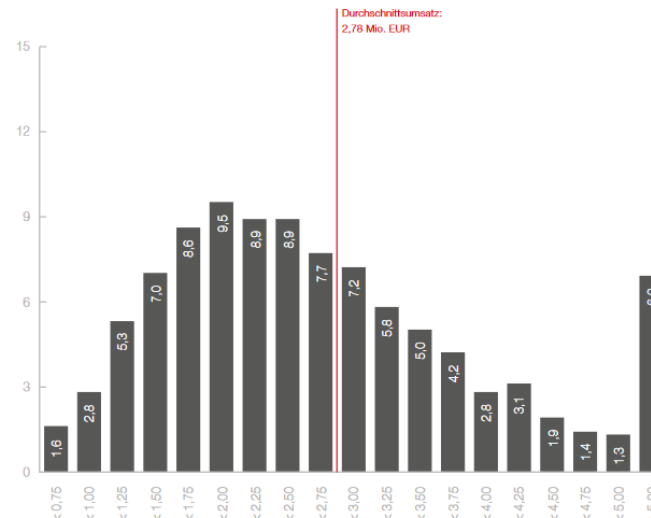
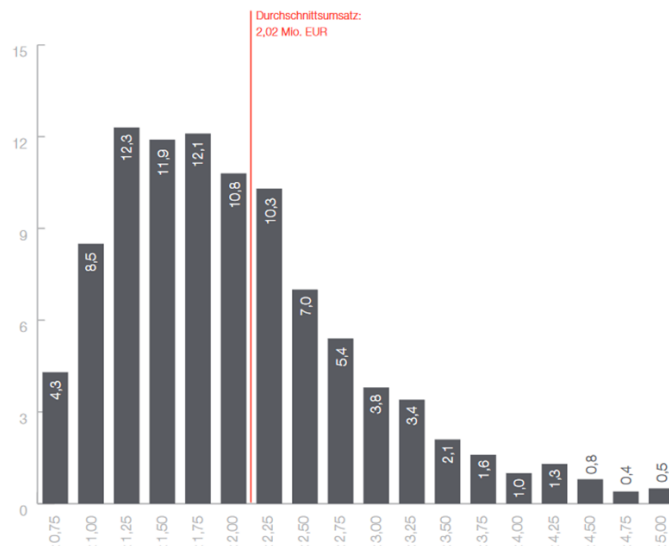
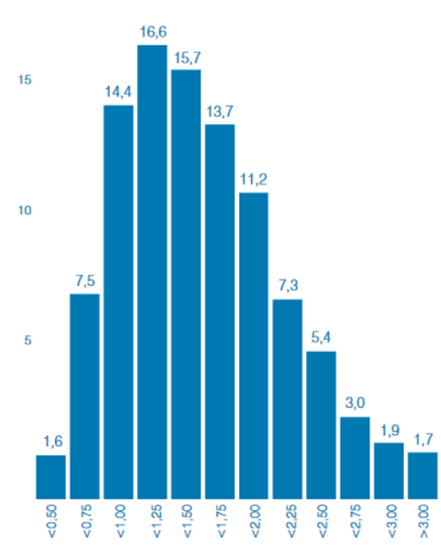
平均売上322万ユーロ
(付加価値税抜き)

Anteil der Apotheken in Prozent

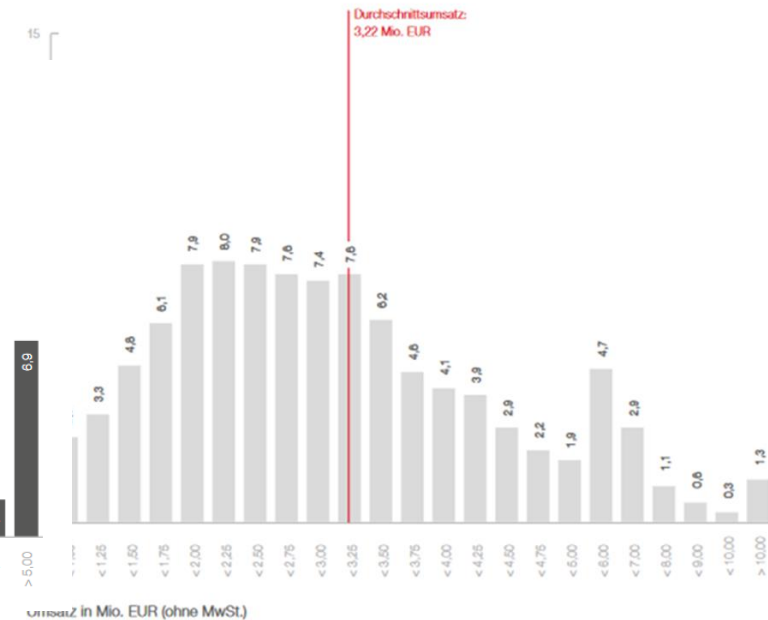


平均平均売上のシフト 淘汰される中小薬局

2009年 2014年 2020年 2022年



Anteil der Apotheken in Prozent

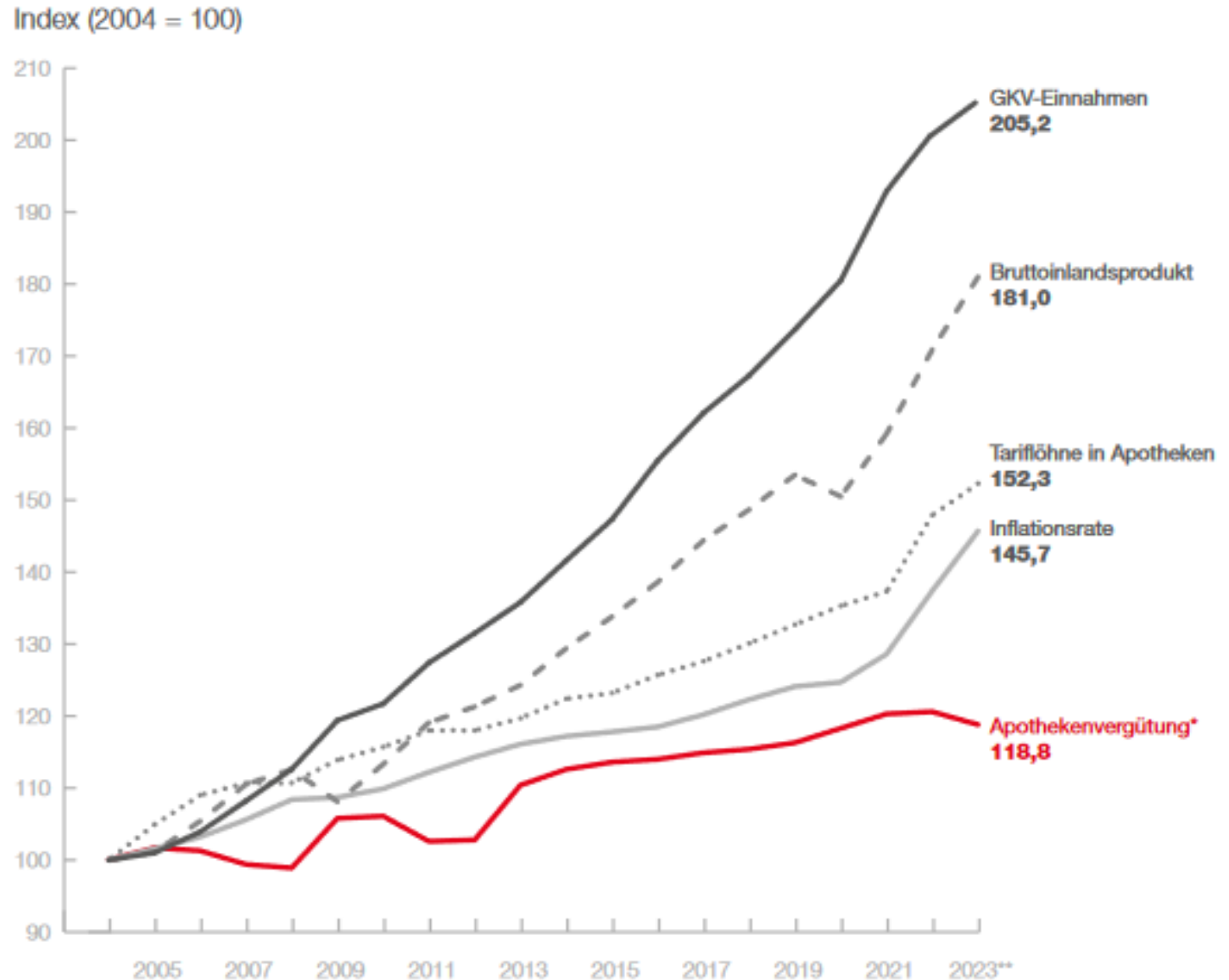


薬局報酬の変化 2004年を100とする

上から

- 公的医療保険の歳入
- GDP
- 薬局被雇用者の給与
- 物価
- **薬局報酬***

*要処方箋薬の報酬：
薬局入荷価格に
• 3%のマージン
• €8.35のFixマージン
• 夜勤手当報酬€0.21
を加え、保険者の手数料
• €2.00（年によって違う）
を引いたもの



ドイツ薬剤師連盟（ABDA）薬局統計：Die Apotheke Zahlen・Daten・Fakten 2023より

https://www.abda.de/fileadmin/user_upload/assets/ZDF/ZDF-2023/ABDA_ZDF_2023_Broschuere.pdf

薬局の利潤

	2020	2021	2022	上から 年次
Nettoumsatz* in Tsd. EUR	2.776	3.079	3.225	平均売上 (付加価値税抜き)
- Wareneinsatz	2.152	2.366	2.530	仕入れ額
= Rohertrag	624	713	695	素利益
- Personalkosten	280	298	331	人件費
- Sonstige steuerlich abzugsfähige Kosten	188	216	215	その他の経費
= steuerliches Betriebsergebnis (vor Steuern)**	166	211	163	税引き前利益

* : 付加価値税抜きの平均売上

** : この数字には、夜勤手当や配達手当も含まれる

薬局の利益

2020～2022年の比較

- ▶ 平均売上は年々の大きくなってはいるが、それに見合うだけの利益が増加していない
- ▶ 2022年は仕入れ額の増加（高額医薬品処方の増加？）、人件費の増加が大きな要因
- ▶ 2023年はさらに利益が落ち込む予想 公的医療保険の手数料が増加
（要処方箋医薬品 1箱あたり€1.77から€2.00、1箱あたり€0.23の減益）